

## SG 460、SG460NS シリーズ

SG460、SG460NS シリーズは、ポリエチレン、ポリプロピレン等のコンテナおよび金属塗装板用のインキです。通常のエポキシ系インキよりも、耐候性、耐薬品性、耐湿性の点で優れています。NSシリーズはSG460のノンシリコンタイプです。

ガラス、強化ガラスなどへ印刷される場合は、CARE178を併用することで、密着性、耐煮沸性が向上いたします。

### タイプ

ウレタン系

2液イソシアネート硬化型 (常温硬化可：プラスチック素材)

3液硬化型 (主剤+イソシアネート+CARE178) (加熱硬化型：ガラス素材)

### 用途

フレーム処理などの表面処理されたポリエチレン(PE)、ポリプロピレン(PP)等のコンテナおよび金属塗装板への印刷に適しています。

3液型にすることで、ガラス、強化ガラスへの密着性、煮沸性に優れます。

### 特徴

平滑性に優れ、グロス(艶あり)の仕上がりになります。

耐候性、耐酸性、耐アルカリ性、耐溶剤性、耐水性、耐摩耗性に優れています。

### 稀釈溶剤

標準溶剤 T-976

遅乾溶剤 T-980

### 硬化剤混合

プラスチック素材の場合

混合比 インキ：硬化剤=70：30 (スタンダード色)

インキ：硬化剤=60：40 (透明色)

インキ：硬化剤=40：30 (800メジュール)

ガラス素材の場合

混合比 インキ：硬化剤：CARE178=70：30：5 (スタンダード色)

インキ：硬化剤：CARE178=60：40：5 (透明色)

インキ：硬化剤：CARE178=40：30：3.5 (800メジュール)

色により異なる場合がありますので、ご注意ください。

混合したインキは常温で約 10 時間経過すると、ゲル化や物性の低下を起こします。

### **洗浄溶剤**

T-31

### **印刷**

スクリーンメッシュ テトロンまたはナイロンの 200～300 メッシュをお勧めします。

### **乾燥**

プラスチック素材の場合

常温 25°C20-30 時間（指触乾燥は 2 時間）

焼付 80°C40 分

120°C20 分

ガラス素材の場合

100°C以上×20 分

### **その他**

- ・ SG460 硬化剤は、湿気に対して非常に敏感に反応します。開缶後はできるだけ早くご使用ください。